

歴史の扉

1996
第3号

(財) 広島市歴史科学教育事業団 文化財課

特集

弥生時代の釣り



弥生時代の
釣り針発見!!



長う子遺跡第6号住居跡 昭和58年度調査

ながね
これは長う子遺跡(広島市安佐南区祇園-広島経済大敷地内)から発見された約1800年も前の釣り針です。そのころ、どんな釣りをしていたのでしょうか。



弥生時代の釣い

弥生人はすごいぞ!

針は?

長う子遺跡の釣り針は鉄でできていて、形も今のと似ています。そこで釣り針づくり50年の名人にこの針を見てもらいました。



■これが弥生時代の針ですが、名人はどうでしょうか?
「この針は上手に作るとるよ。まずカエシをていねいに作るとるよ。このカエシがあるから針にかかった魚は逃げられんし、釣りエサもはずれにくくなるんじゃ。」

■針先も鋭いですね。
「ようやとるのう。それに針先が少し外向きじゃけえ、魚のノドもと深く突き刺さりやすいし大きい魚もあばれにくくなるのう。考えたんじゃろうて。」

■他の部分で工夫している所はどこですか?
「チモト(糸が結びつく部分)をきれいに作るとるのお。これなら釣り糸をしっかり結べるし、結んだ糸がすれてしもうて切れることもないじゃろう。それにチモトをカーブさせとるから、タイなんかの唇が固い魚でも唇の横のやわらかいところに針が刺さりやすくなるんじゃ。」

■作るのは大変だったでしょうね。
「釣り針づくりは今でも5年10年と修行して初めて、釣れそうな針になるんじゃ。じゃから道具などの少ない弥生時代なら今以上に訓練を積んだ専門家が、やっとの思いで作ったんじゃろう。当時の釣り針は貴重品だったと思いますがのう。」

釣り針づくり50年の
刈山親雪さんが作
った手打ちの針です



サオ・釣り糸は?

サオは竹などを利用したの
でしょう。釣り糸は麻など
の植物の繊維を使っていた
のでしょう。



オモリは?

石や、土を焼き固めた
もので作ったと考えら
れます。溝や両端の打
ち欠いたところに糸を
結んだのでしょう。



釣れる魚は?

川ではコイ・ウグイなど、
海ではタイ・クロダイ・サワラ・
ボラ・スズキ・ハモなど大型のものでしょう。



弥生人も食べていた 広島名物 牡蠣 かき

川や海からの食べ
物は魚だけではあ
りません。カキ・ア
サリ・ハマグリ・シジミな
どの貝も弥生時代の
人はたくさん取って食
べていました。特にたく
さん出土するカキは、そ
の形から砂浜で生きていたと
考えられ、不足がちな米類を
おぎなうため、さかんに食べ
られたようです。



長う子遺跡からはカキ殻や貝殻がゴミ捨て場の土の穴から見つかっています。



「先端技術が眠る丘」

安佐南区山本

寺山遺跡

寺山遺跡では、3軒の家などからなる弥生時代のムラと、古墳時代の豪族たちの墓12基が見つかりました。特に墓には、鉄製の武器・農耕具や鮮やかな青色のガラスビーズなど、当時の最先端の技術によって作られた品々が納められており、この墓地に葬られた豪族たちの力を教えてくれます。



「モグラ調査隊に日の光」

中区西白島町

広島城外堀遺跡

西白島交差点地下に眠る広島城の外堀。5年間に渡る調査によって、石垣はもちろん、様々な陶磁器、箸、下駄など江戸時代の日々の暮らしを物語る品々も見つかりました。ところで、この調査も今年度で終了。地下深くで活動してきたモグラ調査隊も、やっと日の光を浴びることが出来ることとなりました。



「どちらのお墓でしょう？」

安佐北区可部町綾ヶ谷

番谷遺跡

番谷遺跡では、石組の棺を中心とした弥生時代の墓9基が見つかりました。さて、この遺跡は太田川側と南原側の両方を見下ろす峠の頂上にあります。はたしてこの墓地に葬られたのは、どちら側に住んでいた人々だったのでしょうか。ちなみに昨年行った現地説明会でのアンケートでは、太田川側63人・南原側56人・両方2人。担当者も悩んでいます。



「団地のとなりに弥生ムラ」

安佐北区口田町

梨ヶ谷遺跡A地点

翠光台団地のすぐそばにある梨ヶ谷遺跡A地点からは、10軒以上の家などからなる弥生時代のムラが見つかっています。特に、火事にあつたため柱材や屋根材などが炭になってよく残っていた家や、直径8m近くもある3軒の大型の家の他、土製勾玉や炭化米などは、当時の暮らしを考える上で非常に興味深いデータを提供してくれることでしょう。